



本間 正義 (HONMA Masayoshi)

前東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
西南学院大学経済学部 教授

帯広畜産大学畜産学部卒業、東京大学大学院農学系研究科修士課程修了、博士課程単位修得退学。
米国アイオワ州立大学大学院経済学研究科博士課程修了 (Ph.D.)。

東京都立大学経済学部助手、小樽商科大学商学部助教授、同教授、成蹊大学経済学部教授、東京大学大学院農学生命科学研究科教授を経て、2017年4月から現職。この間、国際食料政策研究所 (IFPRI、ワシントン D.C.) 客員上級研究員、国連食糧農業機関 (FAO、ローマ) 専門職員、豪州国立大学 (ANU、キャンベラ) 客員研究員などを併任。

主な研究分野は農業政策の政治経済分析であり、経済のグローバル化と農業政策、途上国の経済発展と農業の役割、WTO や FTA における農業問題などを研究課題にしている。農業政策は経済発展の過程で農業収奪から農業保護に転換するが、そのメカニズムの理論化と実証分析を行った研究は、この分野のパイオニア的業績として知られる。日本の農業政策については、専門委員を務める規制改革会議や国家戦略特区等を通じて多くの発言・提言を行っている。また、FAO や IFPRI などの国際機関を通じて途上国の食糧問題にも取り組んでいる。

主な著書に『現代日本農業の政策過程』(慶應義塾大学出版会)、『農業問題の政治経済学』(日本経済新聞社)、『農業問題の経済分析』(共編著、日本経済新聞社)、『日本の新通商戦略—WTO と FTA への対応—』(共著、文眞堂)、『アジア経済：リスクへの挑戦』(共著、勁草書房)、『日中韓 FTA—その意義と課題』(共著、日本経済評論社) など。国内外で発表した論文も多数。

第 11 回 NIRA 政策研究・東畑記念賞受賞(1994)

2010 年—12 年 日本農業経済学会会長